

令和6年度
市民活動団体の現状に関する
アンケート調査報告書

2025年3月15日

ひらつか市民活動センター

(管理運営団体：NPO 法人湘南 NPO サポートセンター)

〒254-0045 平塚市見附町 1-8

TEL 0463-31-7571 FAX 0463-35-6601

Eメール info@hiratsuka-shimin.net

URL <http://hiratsuka-shimin.net>

少しずつ暖かくなり春らしさを感じられる頃となりましたが、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃はひらつか市民活動センターをご利用いただきありがとうございます。

さて、この度「市民活動団体の現状に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。集計がまとまりましたのでご報告させていただきます。

なお、皆様からいただいたご意見、ご提案につきましては、今後のひらつか市民活動センターの運営に役立てていきたいと考えています。

なお、このアンケート結果は紙面の都合上、一部抜粋して編集しています。より詳細な調査結果については、当センターWebサイトにて公開いたしますので、そちらをご覧ください。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

調査期間：2024年11月15日(金)～12月20日(金)

調査方法：該当項目をチェック（設問数18 自由意見2 合計20）

依頼先：当センターに登録している市民活動団体及び市内NPO法人

設問内容：①団体名称 ②法人格 ③回答者の役職 ④活動分野 ⑤会員数 ⑥平均年齢

⑦活動頻度 ⑦-1活動頻度前年比(新) ⑧財政規模 ⑧-1財政規模前年比(新)

⑨主な収入源 ⑩主な支出 ⑪情報発信ツール ⑫現在抱えている課題

⑬今後の活動に必要と思われるもの ⑭今後、必要と思われる支援策

⑮ひらつか市民活動センターに力を入れてほしいもの

⑯当センターに期待する具体的な支援策(記述) ⑰防災に関する連携・協力の可能性

⑱連携・協力の局面(新) ⑲支援をして欲しい内容(新)

⑳市民活動支援に関するご意見・ご提案

(注) ⑦-1、⑧-1、⑱及び⑲は新規設問 ⑯・⑳は記述式

添付内容：①単純集計

②前年度比較（2023年度 場合によって3年間比較あり）

③個別意見・・・16と20の設問（抜粋）

現在、当センターに登録されている市民活動団体は323団体（内訳：NPO法人52団体、一般/公益社団法人12団体、一般/公益財団法人3団体、任意団体256団体）です(2025年1月現在)。

今回の調査では、164団体から回答を寄せて頂きました。法人格別では、NPO法人27団体16.5%、一般/公益社団法人13団体7.9%、一般/公益財団法人7団体4.3%及び任意団体117団体71.3%となりました。

アンケート結果の概略

回答団体数：164団体

■活動分野■

「保健・医療・福祉」の分野が最も多く、49団体・29.9%、次いで「学術、文化、芸術又はスポーツの振興」が35団体・21.3%、「子どもの健全育成」が24団体・14.6%の順になっています。

■財政規模■

1,000万円以上のNPO団体は37.0%、10万円未満は14.8%と幅ががあります。財政規模を全体で見ると1,000万円以上は8.6%、10万円未満は38.4%と一番高く、任意団体だけで見ると47.9%と突出しています。前年度比較では「余り変わらない」が70%、「増えた」は13%となっています。

■主な収入源■

事業収入が13%、その他会費・寄付金・補助金が多くを占めており、例年とあまり変化はありません。

■主な支出■

「消耗品費」が17%と一番多く、次いで印刷費、通信費となっています。

■情報発信■

Webサイトの利用が若干減少気味ですが、SNSは相対的に増えています。特にLINE活用が増加傾向です。

■現在の課題■

人材不足・後継者・情報発信力が弱い、この3項目はここ数年同様傾向にあります。

■今後の活動に必要なもの■

現在の課題にも関連しますが、情報発信力の強化が必要と考えています。

■必要と思われる支援策■

前2項目と同じく、広報スキルアップが多く、地域等との連携、団体組織基盤強化が続いています。

■センターに力を入れてほしいもの■

団体からの情報発信、団体への情報提供、活動・運営支援の順となっています。但し、講座・研修、活動・運営支援については2022年度の調査時が一番高かったのですが、それ以降は減少傾向となっています。

■防災に関する連携・協力■

2023年度より新たに設問項目を追加しました。この項目については、昨年度「連携・協力」が出来ると回答された団体は40団体でした。今年度は、その数が68団体と大幅に増加しています。連携・協力の局面は、災害発生時が25%と一番多く、「いつでも」が15%となっています。団体としては、高齢化等の理由で協力は難しいが、個人としては協力したいとの意見もいただきました。

■災害時支援して欲しいこと■

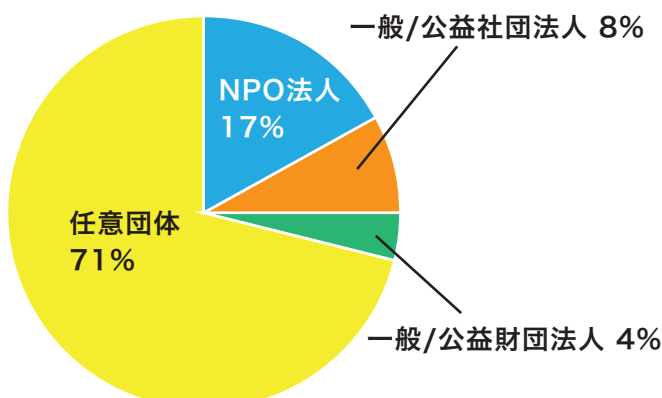
今回、新たに設問を追加しました。高齢者・障がい者等の支援が必要27%、次いで悩み事の相談となっています。

アンケート結果

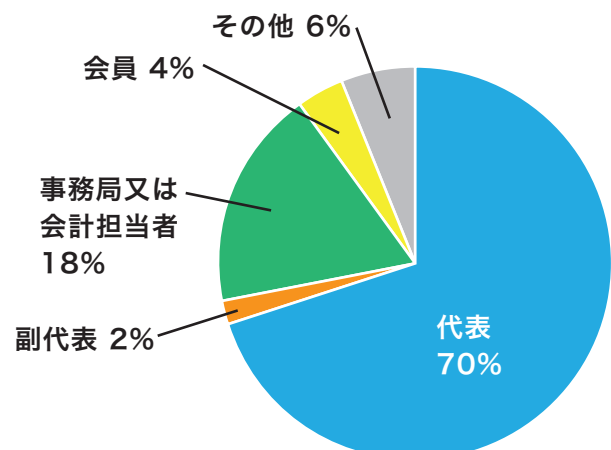
1. 回答状況

配布数	回収数	回収率
364	164	45.1%

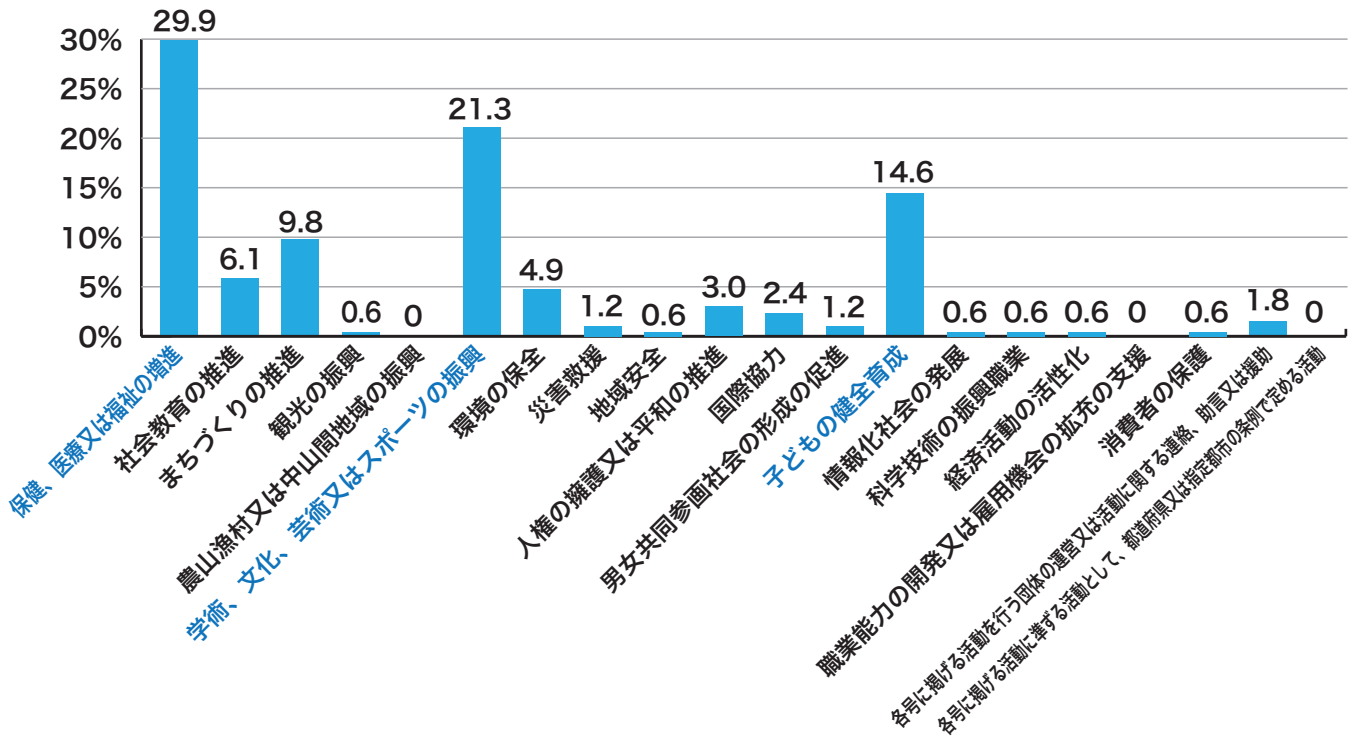
2. 法人格



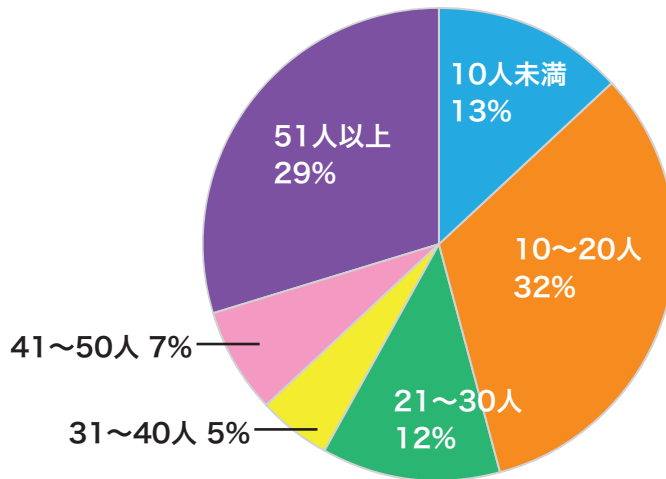
3. 回答者の役職



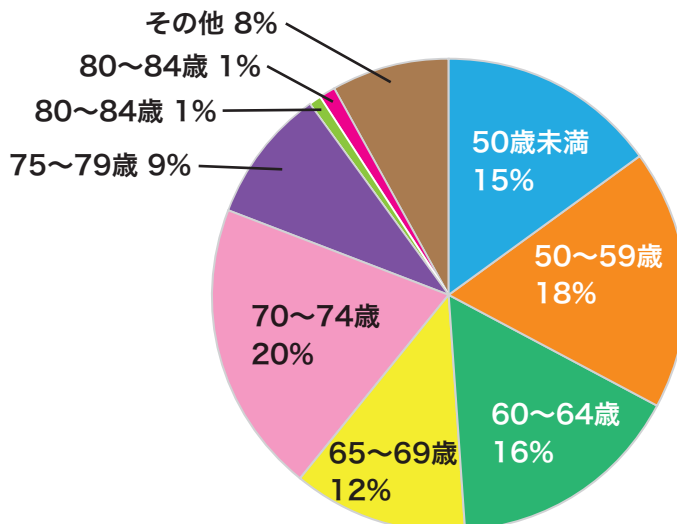
4. 活動分野



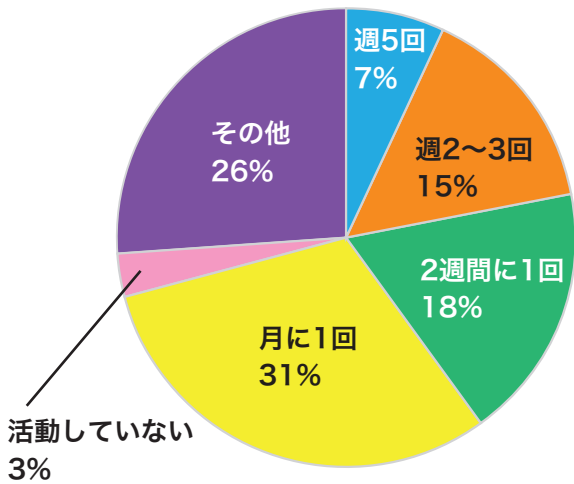
5. 会員数



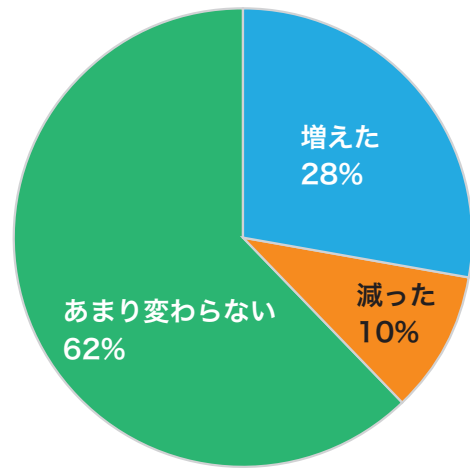
6. 平均年齢



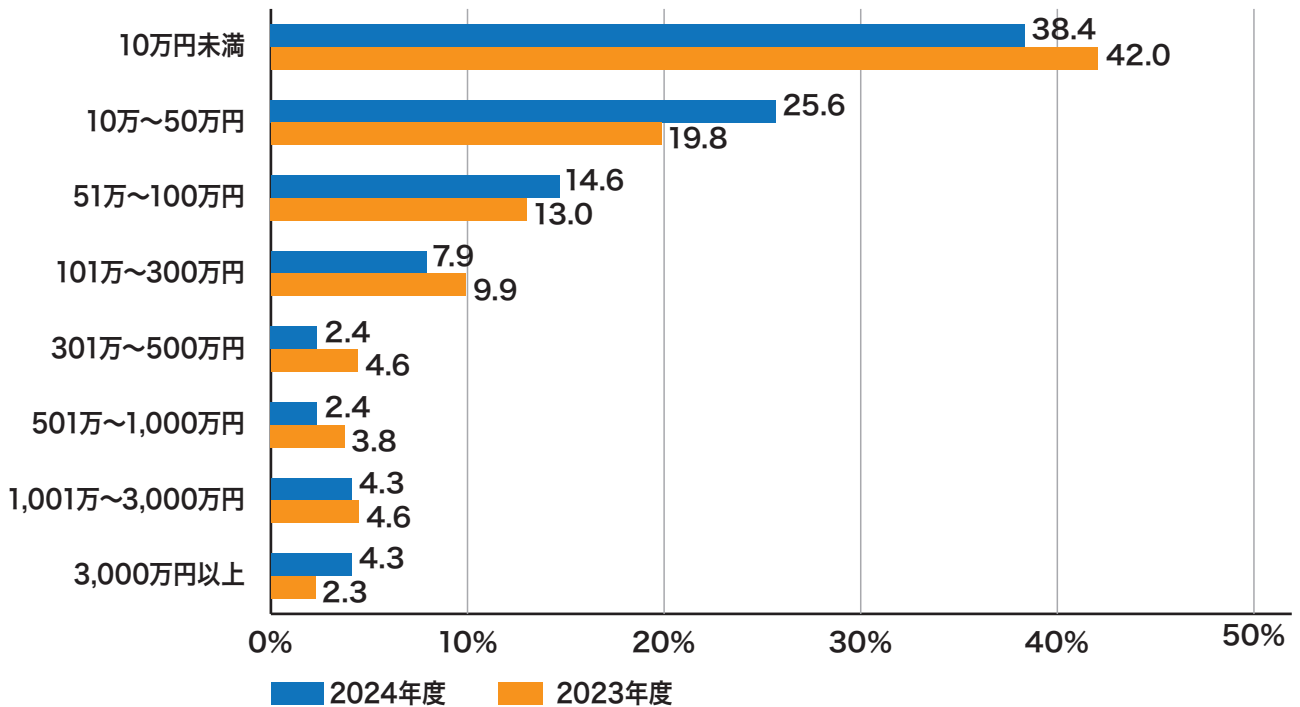
7. 活動頻度



7-1. 活動頻度（前年度比較）

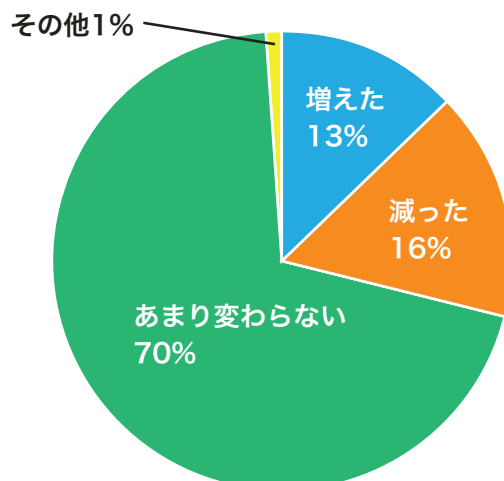


8. 財政規模

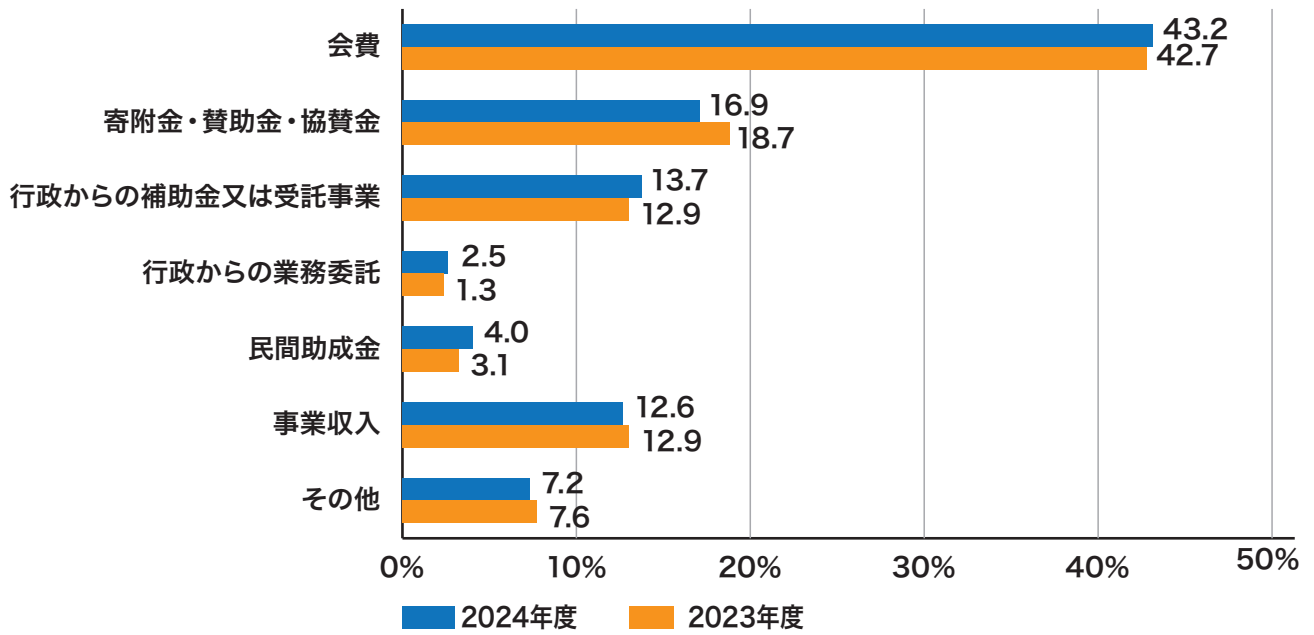


全体で38.4%が10万円未満ですが、1,000万円以上は8.6%。

8-1. 財政規模（前年度比較）

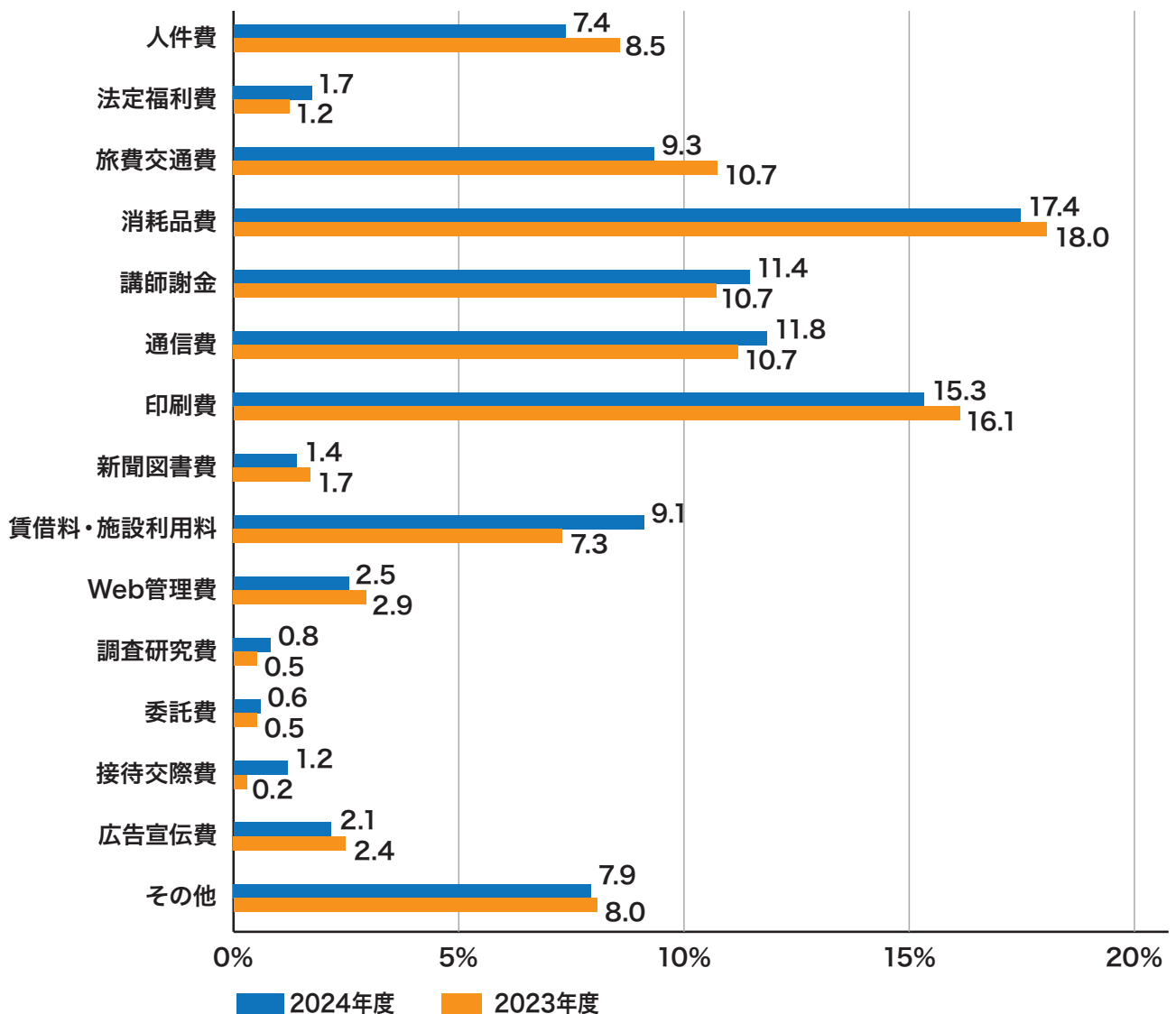


9. 主な収入源



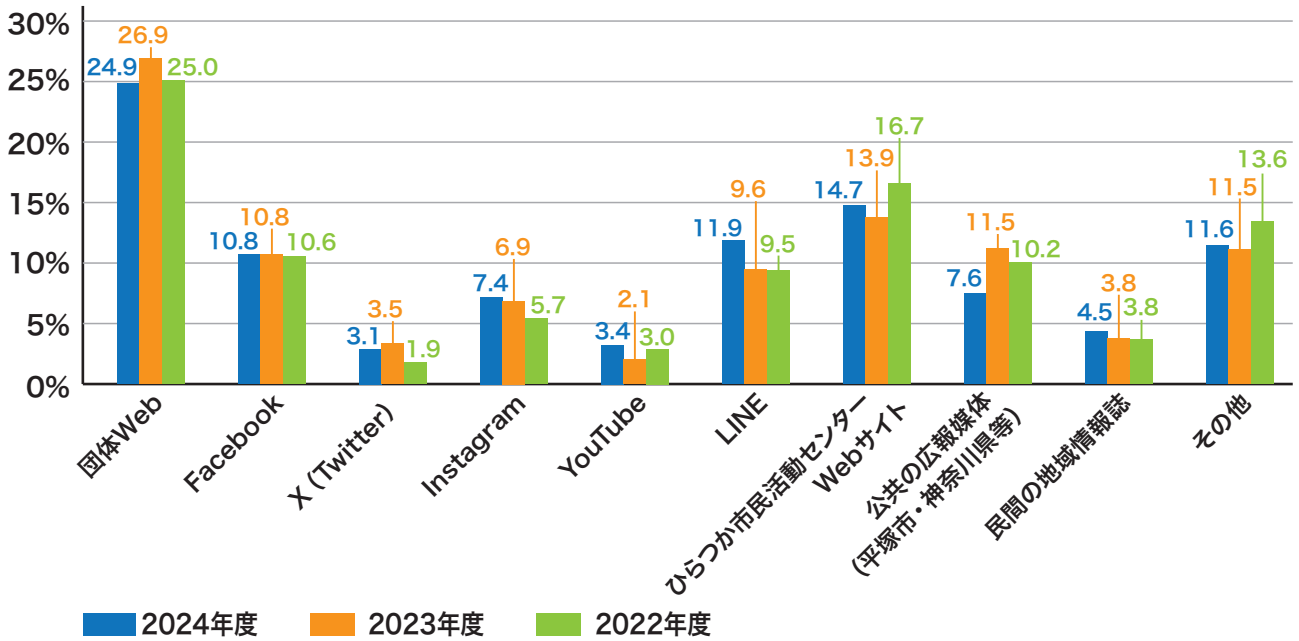
会費、寄附金等で60.1%事業収入を加えると全体の72.7%

10. 主な支出



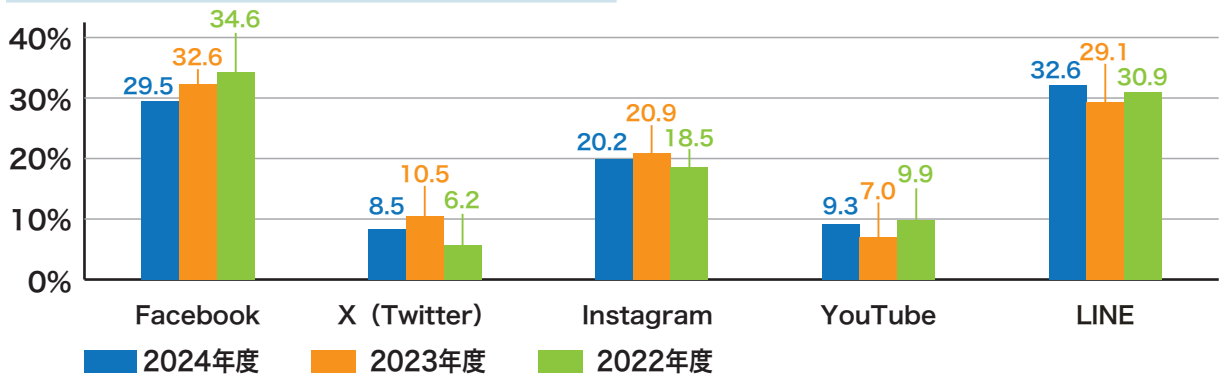
消耗品費 (17.4%)、印刷費 (15.3%)、通信費 (11.8%) で全体の44.5%

11. 情報発信

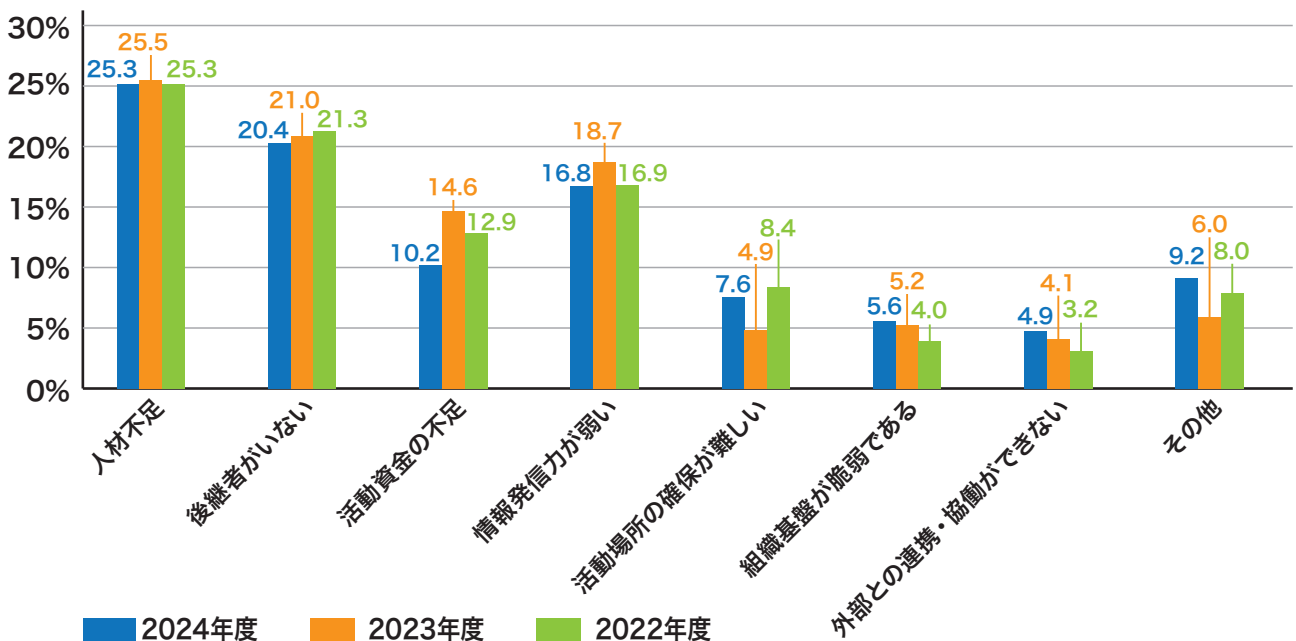


団体Web活用は若干減っている (24.9%)。Facebook、LINE等SNSの利用が増加傾向 (36.6%)

* SNS を 100 とした場合の利用率

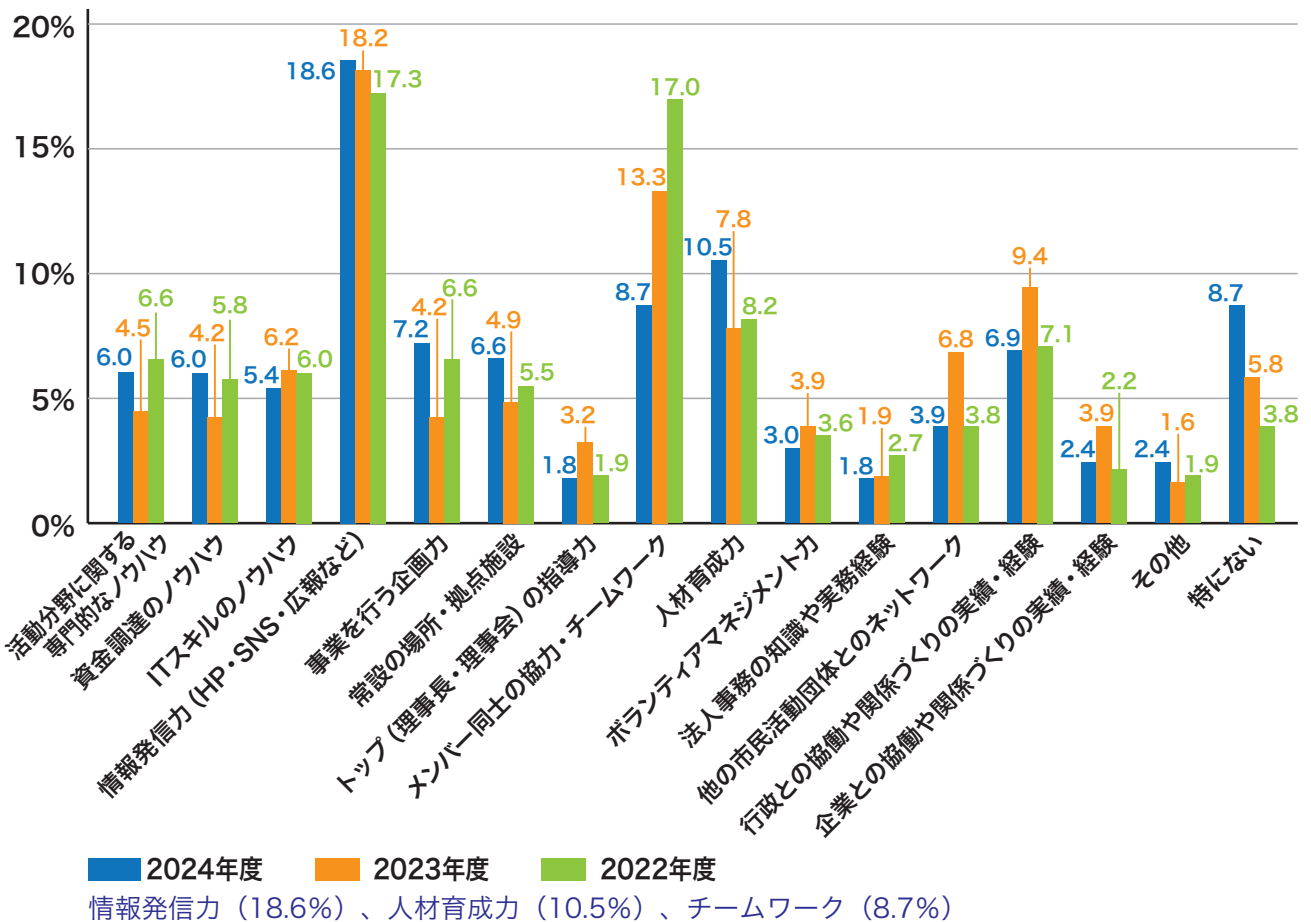


12. 現在抱えている課題

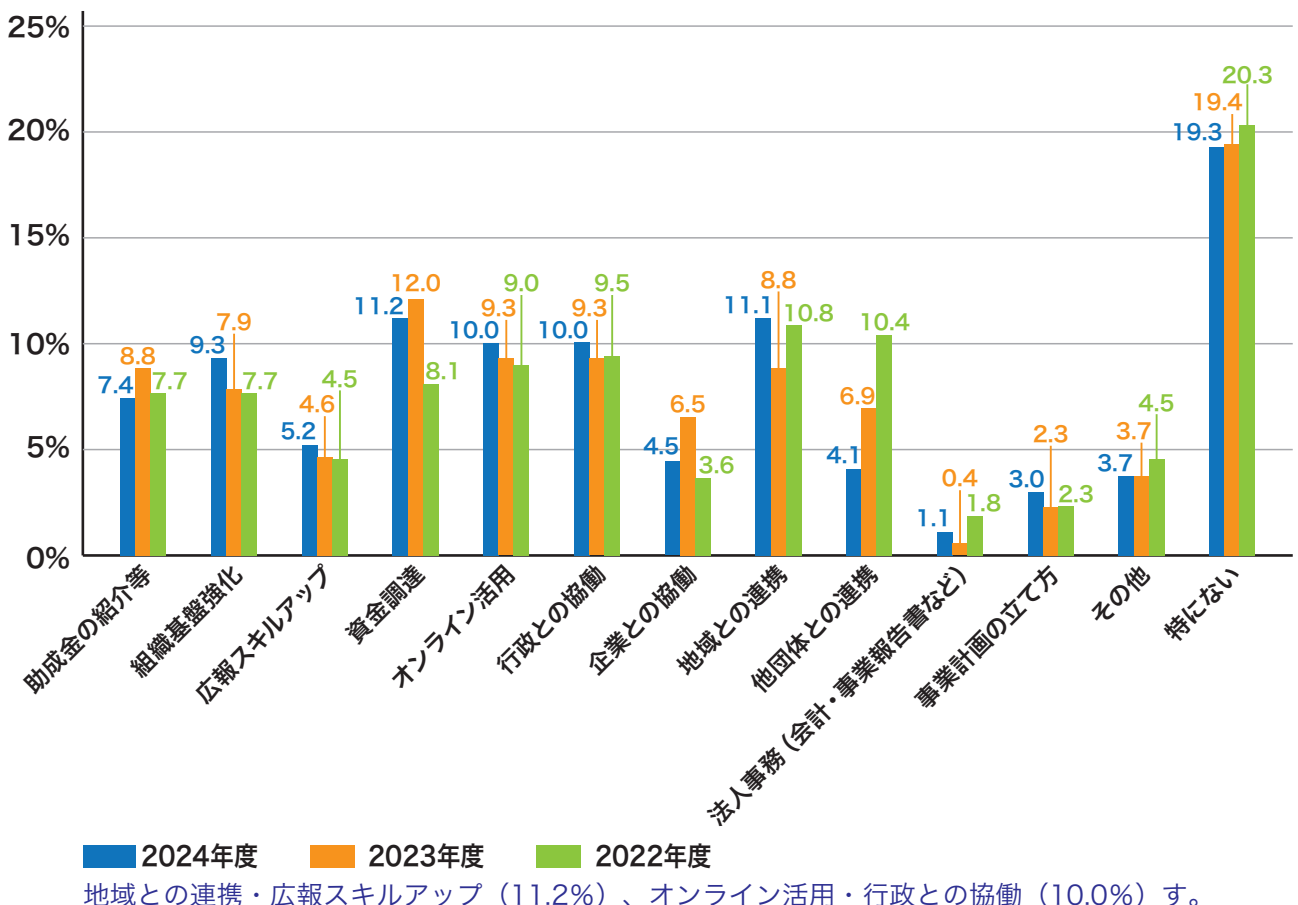


人材不足 (25.3%) 後継者問題 (20.4%)、情報発信力 (16.8%) で全体の62.5%

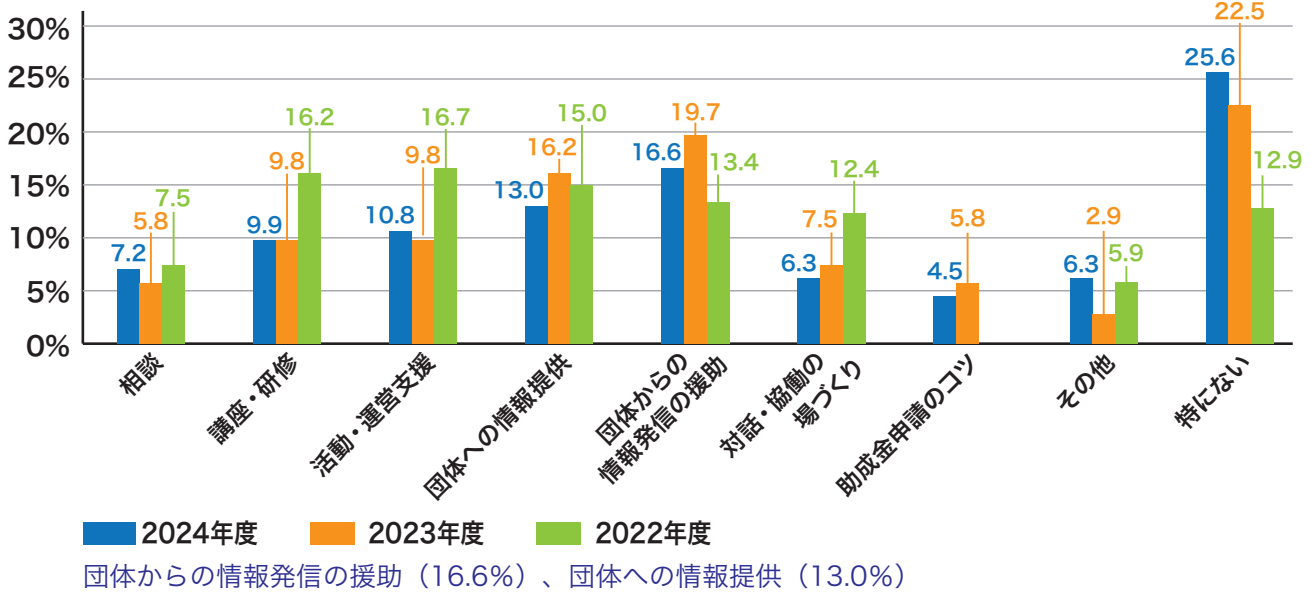
13. 今後の活動に必要と思われるもの



14. 必要と思われる支援策



15. センターに特に力を入れてほしいと思うもの



16. 当センターに期待する具体的な支援策

施設

- ・毎月貴センターの会議室を使用させてもらっているが、その予約を1度に6ヶ月～1年分できると助かるのですが…。
- ・紙折り機は大変重宝しています。故障すると人手募集、人件費が発生。
- ・会議室をもっと活用できる様、工夫頂きたい。
- ・会議室の予約方法の簡便化、優先化等の再検討のお願い。(たとえば定例会として使用する団体には、年間での同じ時間、会議室を優先的に予約、使用できるなど、検討いただけたらとても助かります。)
- ・A3用紙、A4用紙など、使用頻度の高い用紙をストックし、有償でよいので提供してほしい。

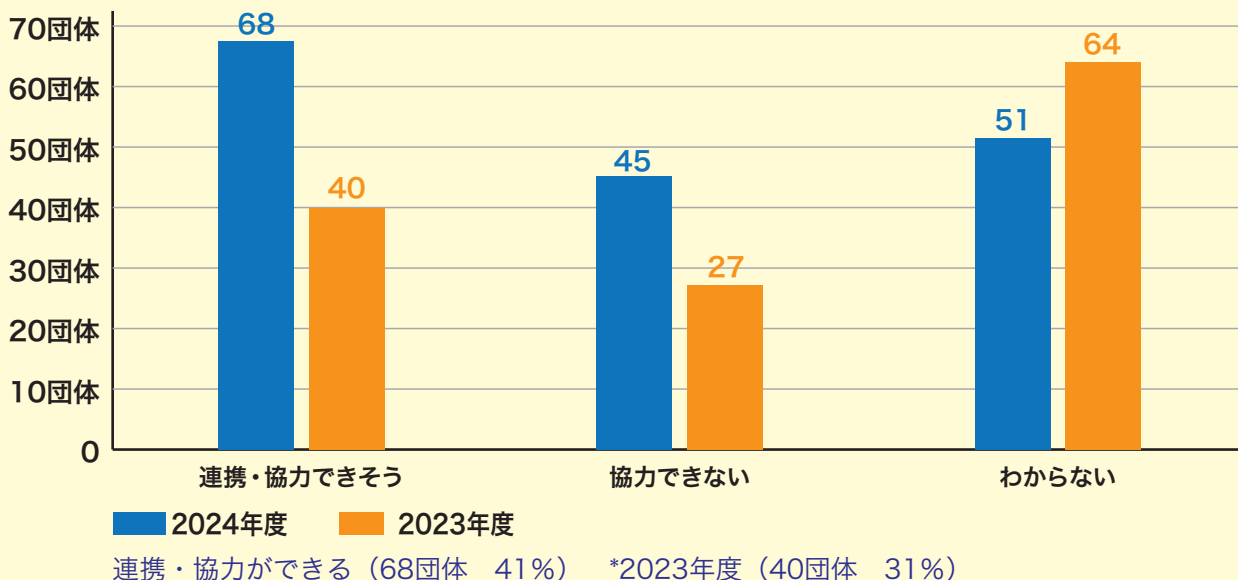
情報

- ・法人事務に関する研修などあれば参加したいと思います。
- ・特に、災害についての情報は常に欲しいと思っています。
- ・当協会のサポーターメンバーに対する研修等あればご支援ください。
- ・色々な市民活動の為の学びの企画や外部講師によるワークショップなど頑張ってください感謝です。メインで活動する世代が変わる時期ですが人材発掘をして下さり活発にしてください。
- ・個性的なスタッフも多くいらっしゃるのでひらつかの風(情報誌)で、コラムなどで紹介してほしいです。
- ・外国の人達に市民活動センター(0円サポート)をもっともっとPRするべきと思う。
- ・外への広報活動⇒効果がある(例:まつりチラシの市内配布はとても良い)
- ・会員数増加協力(近年仕事優先の為、ボランティア参加が難しくなっている)
- ・ボランティア団体とのマッチング。フェイスとフェイスでボランティアを市民に紹介する方法。
- ・ホームページ作りの研修があったら参加したいです。
- ・とてもいい研修が多いのですが、日程が合わなくて参加できない事が多いです。後日、どのような内容だったのかわかる資料の閲覧等ができると嬉しいです。
- ・オンライン研修
- ・いつも様々な情報提供や講座のご案内を本当にありがとうございます。情報の提供を頂きながらそれを活用できていない当方に問題があると考えています。

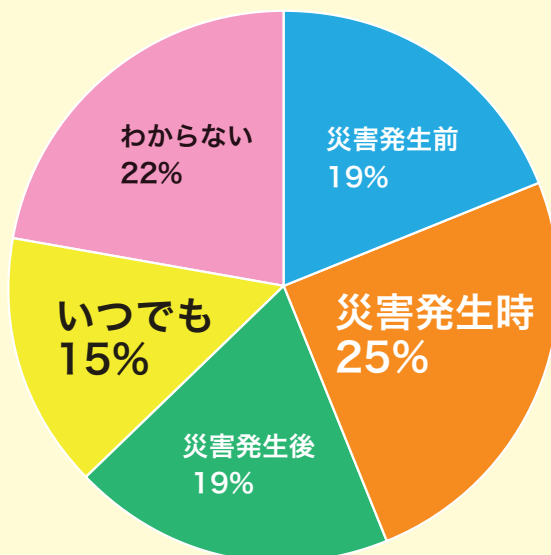
その他

- ・今年度は失礼しましたが、センターまつりのお手伝い。
- ・以前やっていたユースボランティア募集がとてもありがたかった。保養家族の子どもたちの遊び相手が欲しいし、原発事故の被ばく者の実態を学生さんたちに知ってもらえる良い社会勉強の機会でした。

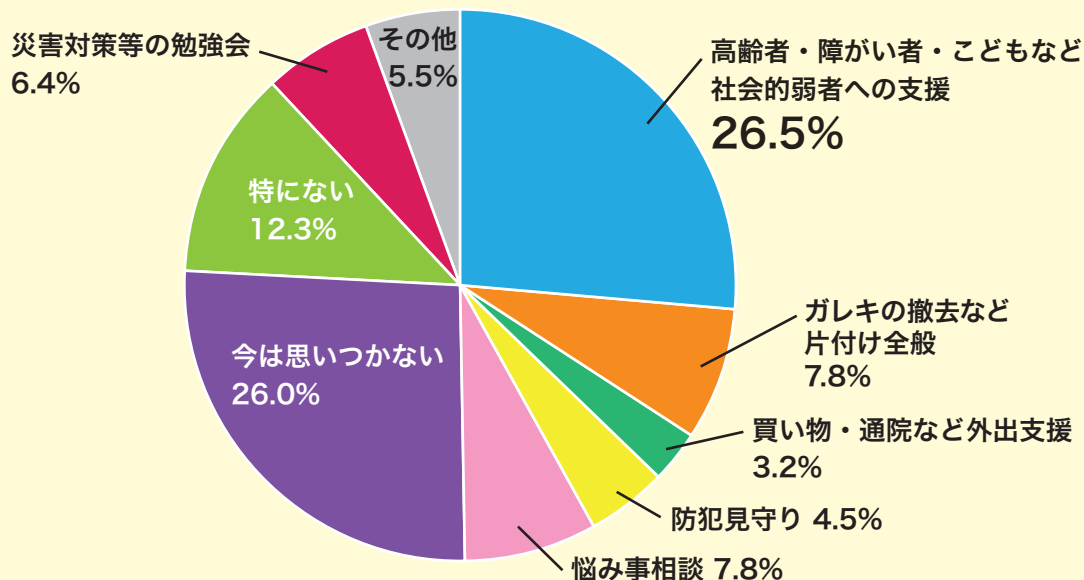
17. 防災に関する連携・協力



18. どのような局面で連携・協力ができますか？



19. 災害時に支援をして欲しいこと



20. 今後の市民活動支援に関するご意見・ご提案

運営

- ・当事者団体として市から委嘱されたり会議に参画していますが、人が出せなくなると市としても当事者家族としても困るのではないかと思うが、どちらにも危機感がないと思う。会だけの問題ではないと思う。
- ・少子高齢化に伴う諸問題にどう立ちむかうか、市民の皆が希望と安心が持てるような具体的対策を周知徹底できるようにする。現在までの御努力はよく分かりますがそれ以上が必要と思われます。
- ・自分の持つスキルや力を活かすことのできる市民活動は、同時に他の人（それぞれ様々な経験や背景を持った方々）との交流の場にもなると思う。（独り世帯の孤独の解消にも役立つのではない）センターで現在行っている子どもわくわく広場やセンターまつりなど、子どもが参加する（できる）イベントでは保護者の来場も見込まれ、とても良い取り組みだと思う。
- ・時代変化が早いので、それに合致した講座の開催
- ・市民活動を発展させる為には、やはり各団体間の連携が大事だと思います。テーマを決めて段階的にブラッシュアップできる楽しい企画を期待しています。
- ・市民活動センターや崇善公民館、中央公民館、勤労会館、美術館など会議や学習会、講演会などの活動会場として必要です。老朽化や耐震工事の必要性のために、今度中央公民館、勤労会館、青少年会館、図書館などが利用できなくなりとても困っています。美術館はホール利用の際、資料代も徴収できないのを改善してほしい。ひらしん平塚文化芸術センターは使用料が有料で高額のためなかなか利用できない。社会市民活動が出来なくなっていると同時に、青少年会館など青少年が利用できる施設が激減しています。特に青少年の学習室が足りないの、藤沢市がするように土日などの市役所の会議室を学習の場に開放してほしいと思います。よろしく願います。
- ・市民活動センターは部屋も借りやすく、打合せのテーブルもすぐに使わせて頂き大変便利です。コピーや印刷機も安価で使い方を丁寧に教えて頂けることがとても有り難いです。これらのことは是非継続してください。
- ・今後でもできる限り、地域での連携、つながりが持てる大切な拠点として機能していただくと助かります。
- ・今まで以上に若い世代が市民活動に興味を持つような企画を期待しています。頑張っているシニアのメンバーの紹介も願います。
- ・その時々で団体の状況も変化し、支援を必要とする内容も違ってきますが幅広く様々な支援を提示して下さることで、安心できる存在に感じています。
- ・アンケートはグーグルなどのフォーマットを使用して、メールで回答できるようにして欲しいです。
- ・①ミーティングスペースのおかげで効率的な指導や勉強ができています。大いに感謝しております。②センターの受付けにより、多くの外国人が助けられています。（各種情報の提供、市役所への案内他）③平塚市民の中に外国人がどれだけいるかを認識していただき、その分だけでもサポートをして頂きたい、と思っております。

広報

- ・市民活動推進事態を知らない人が多いのでは？助成金申請時に初めてご縁を頂きました。地域の活動を支える観点から、もっと認知度を高めるべきでは？

施設

- ・様々な団体が活動できる場所を無償あるいは安価で提供している平塚市の姿勢は良いと思います。今後も続けてほしい
- ・平塚は会議のできるセンターがあり助かります。他の市民団体に参加しているとき会費は、会議室料に消えてましたから。
- ・他の施設が利用制限が多い中（参加費徴収不可、カンパ禁止、利用料が高いなど…）、市民活動センターは本当に使いやすく有り難いです。これからも活動拠点として利用させていただきたいです。

- 施設**
- ・ 先日の活動センターまつりは来訪者数及び来訪者の意識も高く素晴らしいイベントでした。
 - ・ 場所・情報の提供や相談で大変お世話になっています。ありがとうございます。

その他

- ・ 被災者の住まいを確保するために、例えば平塚市が借主になりアパートや貸家を確保する。
- ・ 当会の活動は、その範囲が県内の旧東海道で広く拡がっており、貴施設をなかなか利用できず、申し訳なく思っています。
- ・ 支援して下さる方達の上から目線や態度に敏感に反応してしまうので配慮をお願いいたします。
- ・ 災害時にも役だつ、日頃からのセルフケアを広めたいと思う。
- ・ ボランティア間のつながりの強化。
- ・ せめて手話を覚えて欲しい。平塚市が開催している手話講習会があります。災害の時、筆談ではスピードに欠けるきらいがあります。

アンケート結果のまとめとして

地域課題の多様化・複雑化に伴い、情報収集・発信機能がますます重要になってくると考えます。そのような地域課題に対して、団体同士が連携して取り組む意識の向上と、それに伴う情報発信力を高めるための支援や仕組みづくり、また団体の組織基盤を整えていくための環境整備も必要です。ひらつか市民活動センターとしては、多様なニーズに対応するため、多機関連携・協働の窓口として、地域に密着した市民活動団体の活動拠点として、防災関連の一部ハブ機能の強化を含め、団体の皆様のお役に立てるように運営していきたいと考えています。

なお、活動に関するご相談などがありましたら、ひらつか市民活動センターまでお気軽にご相談ください。相談日や専門的な相談など、必要に応じて調整させていただきます。

ひらつか市民活動センター スタッフ一同